# 13 『古本説話集』

今は昔、①身いとわろくて過ごす女ありけり。時々来る男来たりけるに、雨に降りこめられてゐたるに、「いかにして物を食はせん」と思ひけど、すべきもなし。日も暮れ方になりぬ。＊いとほしくいみじくて、「わが頼みりたる＊、助けへ」と思ふ程に、わが親の＊ありし世に使はれし＊女、いときよげなる食ひ物を持て来たり。うれしくて、＊よろこびに取らすべき物のなかりければ、さやかなるき＊を持ちたりけるを、取らせてけり。我も食ひ、人にもよくよく食はせて、ⓐ寝にけり。

（ア）に男はⓑでて往ぬ。（イ）つとめて＊にて、観音持ち奉りたりけるを、見奉らんとて、＊立てⓒゑまゐらせたりけるを、＊引きあけて＊見まゐらす。この女に取らせし小袴、仏の御肩にうちけておはしますに、いと（ウ）あさまし。昨日取らせし袴なり。あはれにあさましく、②おぼえなくて持て来たりし物は、このの御しわざなりけり。

語注

いとほしくいみじくて＝哀れで情けなくて。

観音＝この世の人々を苦しみから救う。またその仏像。

ありし世＝生きていた時。

女従者＝召し使いの女。

よろこび＝お礼。

小袴＝を短くした。

持仏堂＝信仰する仏像を安置してあるお堂。

帳＝部屋を区切ったり、風や人目をさえぎるために垂らす布。とばり。

帷子＝帳に使う絹布。

見まゐらす＝拝見する。

要約

　女のもとに男が通ってきたが、食事の用意がない。女が観音に助けを求めて祈ると、その御加護によって、食べ物が届いた。

問1　波線部（ア）「暁」とあるが、時間区分として最も適当なものを次から選べ。（5点）

ア　夕べ　　イ　　　ウ　夜中　　エ　夜明け前

〔　　　〕

問2　波線部（イ）・（ウ）について、本文中での意味として最も適当なものを、それぞれ次から選べ。（4点×2）

（イ）　つとめて

ア　念仏の後

イ　出仕した後

ウ　早朝

エ　努力して

〔　　　〕

（ウ）　あさまし

ア　驚くばかりである

イ　恐ろしく思う

ウ　見苦しく感じる

エ　しみじみとしい

〔　　　〕

問3　二重傍線部ⓐ〜ⓒの動詞について、その活用の行と終止形（基本形）を、それぞれ答えよ（ⓐの終止形は平仮名で答えること）。（各完答で3点×3）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ⓒ | ⓑ | ⓐ |  |
| 行 | 行 | 行 | 活用の行 |
|  |  |  | 終止形（基本形） |

問4　傍線部①とあるが、「女」のどのような状態をいっているのか。最も適当なものを次から選べ。（9点）

ア　大変な病気を患っている状態。

イ　身分が低く男と釣り合わない状態。

ウ　暮らし向きが大層傾いている状態。

エ　立場が悪く姿を隠している状態。

〔　　　〕

問5　傍線部②とは何のことか。本文から十字で抜き出せ。（9点）

〔　　　　　　　　　　　　　　　〕

問6　第二段落の内容に合致するものを次から選べ。（10点）

ア　男は、女の家から帰る途中、観音にお参りして、観音の従者が食べ物を送ってくれたと知った。

イ　男は、女の従者が以前の恩を返すために、観音からもらった食べ物を女に届けたと知った。

ウ　女は、観音が従者の姿となって、食べ物を届けてくれたと知った。

エ　女は、男が観音であって、従者に食べ物を届けさせたと知った。

〔　　　〕

練習問題〈下一段・下二段活用動詞〉

一　下一段活用動詞「る」の活用を平仮名で書け。

①　（　　　）ず。　　未然形

②　（　　　）て、　　連用形

③　（　　　）。　　　 終止形

④　（　　　）時。　　連体形

⑤　（　　　）ども。　已然形

⑥　（　　　）。　　　 命令形

二　下二段活用動詞「」の活用を平仮名で書け。

①　（　　　）ず。　　未然形

②　（　　　）て、　　連用形

③　（　　　）。　　　 終止形

④　（　　　）時。　　連体形

⑤　（　　　）ども。　已然形

⑥　（　　　）。　　　 命令形

【解答】

問1　エ

問2　（イ）＝ウ　　（ウ）＝ア

問3

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ⓒ | ⓑ | ⓐ |  |
| ワ行 | ダ行 | ナ行 | 活用の行 |
| 据う | 出づ | ぬ | 終止形（基本形） |

問4　ウ

問5　いときよげなる食ひ物

問6　ウ

【練習問題解答】

一　①け　　②け　　③ける　　④ける　　⑤けれ　　⑥けよ

二　①え　　②え　　③う　　　④うる　　⑤うれ　　⑥えよ